

はじめに

東海大学医療技術短期大学は、1974年4月に東海大学医学部の創設と期を一にして、東海大学湘南キャンパスに開設され、2010年度で36年を迎えました。卒業生も2011年3月で約4400名を超える歴史を刻むこととなりました。

開設以来、第一看護学科（3年課程）と第二看護学科（2年課程）の二学科で看護師の養成をしてまいりましたが、准看護師養成状況の変化に伴い第二看護学科については2005年3月で廃止しました。また、第一看護学科は看護学科と名称変更をしました。第一看護学科としては2005年度が最後の卒業生となり現在は、看護学科として教育が進められます。

医療、看護及び福祉の連携によって社会に貢献する“かなめ”である看護職は、専門技術の確実な修得とともに、広い基礎的視野と柔軟な思考力を備え、目標とする人間愛の実践をより高度に、また効果的に実践する能力が要求されます。この目標を達成するために、看護教育は人間理解の体得と専門知識の修得を総合的に学ぶとともに実践能力を身につける必要があります。本学の教育の柱として重要視しているところです。また、国際性と広い人間的視野を養うための海外研修なども活発に進められています。

以上のような状況のもとこの度は、2010年度の活動結果をまとめましたのでご報告いたします。このような形での情報公開は本学にとって当然の責務であり、現代における大学のあり方を考える上で極めて重要であると考えます。皆様におかれましては是非この年報にお目を通していただき、忌憚のないご意見、ご叱声をお寄せいただければ幸いです。

2011年9月

東海大学医療技術短期大学

学長 灰田 宗孝